

聞こえないってどういうこと?



「聞こえない」「聞こえにくい」と一言でいっても、ろう・難聴・中途失聴・老人性難聴など「聞こえかた」もさまざまです。また「65歳以上の約7割は耳が聞こえにくくなり、誰でもいずれは聞こえにくくなる」ということです。

聞こえない人は外見からの判断が難しいため、その存在に気づきにくいのが特徴です。そのために、どんなタイミングで、どのような配慮が必要なのかわかりにくいのです。

あ 大きな声でも話せば通じるの？

大きな声でも通じない事もあります。通じない事もある人には、「読話」読み取ることができたり、はつきりとした口の形で話してください。

ひ 筆談で100%通じるの？

聞こえない方の中には、文章が苦手な方もいます。筆談で全て解決できるわけではありません。では、筆談対応のポイントとは？

み みんなが手話ができるの？

聞こえない全ての人が手話でコミュニケーションができるとは限りません。さまざまな対応方法があることを理解して下さい。

ほ 補聴器がつけられれば聞こえるの？

補聴器が個人個人の聞こえかたに合ったものがないと聞こえにくい場合があります。補聴器の正しい使い方を知ることが大切です。

き 聞こえないという人は生活の中の不便なことは？

聞こえない人にとっては、当たり前なことでも聞こえない人には不便なことがあります。

- 電話の着信音
- テレビの音声
- 火災警報器

「聴覚障害の基礎知識」を学ぶ講座

岐阜県聴覚障害者情報センター
手話等普及啓発のためのアウトリーチ事業

「聞こえない」こと「聞こえにくい」ことについて学んでみませんか？

聴覚障害者に対するコミュニケーションの方法等、基礎的なことを学んでいただく講座です。

職場内での研修などにぜひご活用ください